団体活動の課題

(団体活動取りまとめシートから抜粋)

	自治連合会大山口小学校区支部	地区社会福祉協議会	西部地区民生委員児童委員連絡協議会	青少年相談員連絡協議会	大山口小学校PTA
主な事業 ●事業名称 ⑤課題·将来展望	 ◆大山口小学校区合同夏祭り ◆全自治会の参加に至っていない(2 自治会は独自に祭り開催) ◆防災訓練 ◆課題:参加者の減少 	 ●お元気ですかコール ●ふれあい・支え合い食事会 ⑤これ以上参加者が増えると運営困難になるが、参加したい人が参加できる会にしたい。 ●ほのぼの会 ⑤地域内の類似サロンとの住み分けや連携 ●ふれあいスポーツ ⑤高齢者より子どもの参加割合が増加 ●メンズクッキングタイム 	 ●地域への訪問(見守り)活動 ●心配事相談の相談員(年3~4回程度) ●学校訪問大小、大中、第三小から子どもの情報を得る。 ●米寿のお祝い品の配達 ●地区社会福祉協議会、各種地域活動・イベントへの参加 ⑤他の団体との関わりをどうつくっていくか(高齢者クラブ、コラボ白井、自主防災会等) 	●西白井地区通学合宿●運営・協力ボランティアの確保、参加者の確保、人材を確保し継続的に安定した事業を展開したい	 ●危険個所マップアンケート ●夏季パトロール ⑤ ・住宅開発、交通量の増加などにより、車の抜け道が増えつつある ・見守り実施状況の詳細は未把握 ・以前は町内会(自治会)毎に校外委員を選抜していたが、クラス毎の選抜に変更したため、校外委員会の地区バランスが崩れ、地区密着度が低下している ①子ども110番・パトロールシート配布 ⑤協力者の維持・確保
団体の課題 ●人、②もの、 ③お金、④その他	●1年交代が多く活動が積みあがらない、引継ぎが不十分④小学校区内の地域差が大きく二極化しておりうまく融合できていない	❷拠点施設の拡大	●なり手がいない若い人に存在を知ってもらいなってもらいたい。●必要な人に声をかけてもらいやすい存在になれればいい	●人材の確保・仕事等が多忙で会議や活動に参加できない相談 員が多く、若くて子ども・世話好きな人がほしい・ボランティアは毎回個人のネットワークで協力要 請しているが、安定的に確保したい・参加者が増えない傾向がある	●なり手の確保・生活スタイルが多様で難しい
団体活動を通して感じる地域課題	・行動力のある若いリーダーがいない ・地域活動で効率的・効果的な会議が不十分	・高齢化による空き家の増加	・高齢化 ・外で遊ぶ子どもが少ない ・子ども達の情報が把握しづらい	・子どもたちのコミュニケーション力の不足 ➡挨拶の習慣づけが必要	・地域間の温度差が大きい(生活スタイル、考え方) ・地域が変化するスピードにまちづくりが対応できていない、リーダーが必要

	大山口中学校PTA	高齢者クラブ大松長寿会	高齢者クラブ大山口大寿会	ふれあい大松	NPO法人まちづくり西白井
主な事業 ① 事業名称 ③ 課題・将来展望	●大山口中学校区通学路状況観察●大山口中学校区三校合同パトロール●大山口中学校区こども110番会議●夏期パトロール集計	●定例親睦会 ●全会員の参加が難しい(理由:病院、他サークルへの参加)が、全員参加でバス等にて外出したい		●ふれあい大松サロン●企画のマンネリ化、参加者の固定化の傾向があり、人材(PC 操作、会計、ネットワークがある人など)の確保、若い人たちの参加を得たい●ふれあい大松健康体操教室⑤大松住民の参加が半数強のため、地区内の参加者を増やしたい	●清掃活動⑤清掃活動の拡大(西白井駅くらいまでのエリアの公園)が今後の検討課題●交通安全活動●ラジオ体操
団体の課題 ① 人、 ② もの、 ③ お金、 ④ その他	●未加入者をなくす、活動の担い手の確保	❷参加者増で会場が手狭になる	●70歳代の新規会員の勧誘 積極的に呼び込むか?自治会で迎え入れるか?	①スタッフの高齢化・若返り、参加者の固定化	◆地域への法人の認知度の向上
団体活動を通して感じる地域課題	・子どもの健全育成を阻害する目に見えない、親が知らない危険が増えている	・高齢化が進行し、同じ高齢者でも元気に参加する人、参加しない人と差がある	・高齢化が進行し頑固な人が増える傾向がある	・高齢者が自分を高齢者と自覚していないためか、参加者が増えない、活動に関心を持ってもらえない	・西白井地区の地域内のつながりが弱い(特に男性)